

# 平成29年度 下妻市の予算

平成29年第1回下妻市議会定例会（3月議会）で、下妻市の平成29年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は159億1,000万円で、前年比11.3%の減。特別会計と水道事業会計を合わせた予算の総額は286億7,090万円で前年比6.9%の減となっています。第1回下妻市議会定例会での市長施政方針（一部抜粋）と第5次下妻市総合計画に基づいた主な予算について紹介します。

## 平成29年度 市長施政方針 みんなで創ろう活き活き下妻

平成29年度 下妻市の予算

下妻市長 稲葉 本治



**私** が市長として市政の舵取りを務めさせていたから、2期7年が経過しようとしています。就任以来、「みんなで創ろう活き活き下妻」を目標として、力あるまちづくりを進めてまいりました。

見受けられます。地方経済はその閉塞感からなかなか脱却できずにおりますが、私は就任以来一貫して、下妻市を元気なまちにして、市民の皆さまがプライドをもつて「下妻市民です」と言えるまちづくりを進めてまいりました。

**東** 京一極集中を是正し、地方への人の流れを作つて地方を活性化させる、いわゆる「地方創生」については、本市に限らず全国の自治体で人口減少対策と定住促進に対応する人口ビジョン並びに総合戦略を策定し各種施策を展開しております。

第一に、本市の将来を見据え、持続可能なまちづくりを進めていく上で、喫緊の課題であった財政改革に取り組み、就任当時17・6%であった実質公債費比率を平成27年度末には9・6%に、また、経常収支比率も94・4%から87・7%に改善し、一時の危機的状況から脱することができました。しかし、まだまだ予算を許す状況ではなく、今後も財政バランスに注意を払った市政運営を行っていきたくと考えているところです。

**安** 全で安心なまちづくりを目標に掲げ、特に子ども達の安全・安心を最優先に考え、学校、幼稚園、保育園の耐震化とリニューアルを計画的に進めてまいりました。現在、改築工事を進めている下妻中学校の校舎が完成しますと、市内すべての学校施設の耐震化が終了し、子ども達の安全・安心な環境が整うこととなります。さらに、老朽化が進んでいた総合体育館の耐震化・リニューアル工事も終了し、安全で快適な体育施設として運用されております。

**本** 年1月23日からは、「シモンちゃんバス」が実

証運行を開始いたしました。オープンを控えたまちなかの両施設と、東の小貝川ふれあい公園、西のピアスパークしもつまを結んだルートで運行し、市内観光施設を来訪される方の足として、また、高齢化社会を迎え、市内施設や医療機関を利用するための新しい公共交通としての役割を担うものと考えております。

このチャンスを、本市の魅力を広げ発信し、観光・交流人口の増加や市外からの定住促進につなげていくとともに、引き続きトップセールスによる企業誘致、基幹産業である農産物のブランド化や海外販路拡大に挑み、農・工・商のバランスが取れたまちとして、着実な発展を目指してまいります。

その他、「健幸都市しもつま」づくりのため、中学3年生までの医療費無料化や各種検診・予防接種の助成など、子育て世代にやさしい施策を展開するとともに、「砂沼荘」の全館リニューアルを実施し、砂沼を生かしたウォーキングなど「健幸都市しもつま」の発信基地として、その機能を充実させながら本市の魅力度アップにも努めております。

このように、2月26日には、圏央道の境古河インターチェンジとつくば中央インターチェンジ区間28・5kmが開通し、茨城県区間が全線開通となりました。これにより関東各地へのアクセス性が向上し、観光周遊の促進が期待されるとともに、成田空港経由

の訪日外国人旅行需要の取り込みや埼玉県・千葉県からの交流人口の増大、沿線に立地する工場や大型物流施設の生産性向上の加速化などが見込まれ、人や物の流れが大きく変わるものと予想されます。

また、「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感していただけるようなまちづくりを全力で取り組んでまいります。

平成29年第1回下妻市議会定例会（平成29年3月1日）

（一部抜粋）

### 平成29年度当初予算の総括

区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)	
一般会計(1)	159億1,000万円	179億3,500万円	△11.3	
特別会計	国民健康保険	65億2,200万円	65億6,600万円	△0.7
	後期高齢者医療	3億7,300万円	3億6,800万円	1.4
	介護保険	32億6,900万円	32億7,600万円	△0.2
	介護サービス事業	570万円	870万円	△34.5
	下水道事業	9億9,600万円	9億7,300万円	2.4
	砂沼サンビーチ	1億7,700万円	2億円	△11.5
計(2)	113億4,270万円	113億9,170万円	△0.4	
水道事業会計(3)	14億1,820万円	14億7,181万5千円	△3.6	
合計(1)+(2)+(3)	286億7,090万円	307億9,851万5千円	△6.9	